

# チーム えがお



【学校教育目標：たくましく生きる児童の育成】

やさしい子 ・考える子 ・元気な子 ・やりぬく子



発行者：校長 岡田 達也

～ えがお かがやき がんばる 学校 おうえんだん「チーム北川」～

## 『校内科学発表会』開催！



本校の伝統の一つに、渡邊科学賞に代表される科学研究があります。この取組は、本校の自慢です。本年度も全校で88名の子どもたちが取り組み、各学年における科学研究発表会を経て、「校内科学発表会」の代表を決定しました。4日（金）に開催した発表会では、下学年（第1部）から8名、上学年（第2部）から11名（内1名欠席）が参加し、堂々と発表しました。当日、お忙しいにもかかわらずご参加いただきました皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。

科学研究に取り組むことは、なかなか大変です。それは、まず「何について」取り組むか、つまり「研究テーマ」を見つける（動機づけ）までに時間がかかるからです。日頃から課題意識をもっている子はすぐにテーマを決めることができますのですが、多くの子は結構悩むものです。発表した子どもたちの研究動機は、大別すると、ア)身のまわりの事象への興味・関心から、イ)学習したことへの疑問から、ウ)昨年度から継続している課題から、の3つになります。研究方法については、①観察や観測を主とする内容（自然の事物・現象の変化を時系列で調べるもの）、②実験を主とする内容（条件をコントロールして調べるもの）、③採集を主とする内容（目的に応じて採集し、整理・分類するもの）、④調査を主とする内容（事物や現象について様子を調べるもの）の4つに分かれます。

科学研究に取り組むことで育つ力としては、「自主性」「創造性」「信頼性・客観性」「論理性」といったものがあげられます。特に、自主性や創造性は、研究を継続するための大きなエネルギーになります。校内科学発表会に参加した19名の子どもたちの発表は、そうした点にあふれ、渡邊科学賞及び準渡邊科学賞にふさわしい内容でした。来年度の参考になると思いますので、本年度の校内科学発表会で発表された研究テーマを紹介します。

### 【第1部：下学年】

- 1年：「どろだんごをつくったよ」「ゴーヤミックスジュース」
- 2年：「花の日もちくらべ」「カブトエビのかんさつ」
- 3年：「アリのかんさつ」「ストローをまさつすることでおきるせい電気」「ペーパークラマトグラフのけんきゅう」「レモン電池のけんきゅう」



### 【第2部：上学年】

- 4年：「水がこぼれるか こぼれないか」、「いろいろな野菜の種集め」「フリーズドライって何？」
- 5年：「デンプン調べ」「どのシャボン玉がながもちするか」「高はし川の源流をたずねて」「ジャンボタニシの性質」
- 6年：「円柱や角柱の特徴を調べる」「たまごのカラはとけるのか」「ボールの反発力調べ」「塩の水吸い出し実験」



【渡邊科学賞】：「円柱や角柱の特徴を調べる」 【準渡邊科学賞】：その他の研究18テーマ

【市連P主催の科学発表会への参加】

- ・「花の日もちくらべ」
- ・「ジャンボタニシの性質」
- ・「アリのかんさつ」
- ・「円柱や角柱の特徴を調べる」

～ ご家庭のご協力やご支援に感謝申し上げます！ ～